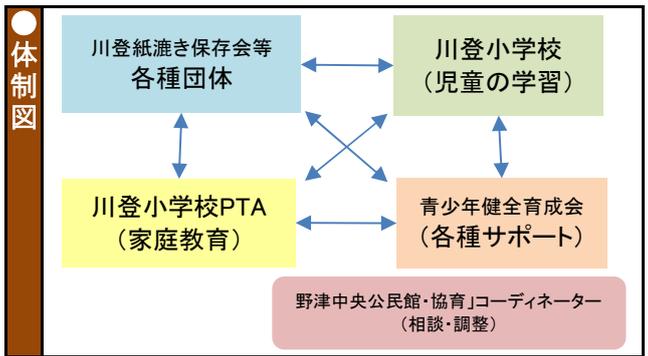


大分県臼杵市	●活動名	●関係する学校名
	川登小学校区青少年健全育成会	臼杵市立川登小学校

協働活動開始年度	平成 27 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	5 学級	のべ児童・生徒数	27 人
活動区分	学校支援活動	—		—		地域人材育成	
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	1人		1人		1人		
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有		
	平成31年4月1日設置予定	—	13人	—	—		
参考URL	<a href="http://svou.oita-ed.jp/usuki/kawanobori/">http://svou.oita-ed.jp/usuki/kawanobori/</a>						

●連絡先	臼杵市教育委員会 野津中央公民館	☎ 0974-32-2270
------	------------------	----------------



●活動の概要・経緯

川登地区では青少年健全育成会の活動として、あいさつ運動などの安心安全対策、除草・剪定作業や運動場整備などの学校環境整備、地域の歴史や特性を活用した教育活動の支援などに取り組んでいる。平成27年度からは、地域に「協育」コーディネーターを配置し、活動の実施主体である、川登紙漉き保存会や川登小学校愛護クラブ、読み聞かせボランティア、地元の史談会や地域の民間事業所など、多様な関係団体と連携して企画・運営を行う体制を構築している。

それらの活動の集大成である卒業証書づくりに象徴されるように、地域への誇りと愛情を育む6年間になるよう、地域資源を活用した「社会に開かれた教育課程」を具現化し、学校との連携・協働により地域ぐるみで子供たちを育む活動となっている。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①地域産業の継承：地域の伝統産業である川登和紙について、子供たちは紙の成り立ちから川登和紙の歴史などを学習するとともに、地元で自生している材料で伐採から紙を漉くまでの一連の紙漉き工程を体験し、卒業にあたっては卒業証書を自らの手で作っている。
- ②他地域との交流活動：地域に伝わる「二孝女物語」の伝承が縁で始まった茨城県常陸太田市との交流も、児童を交えた市民訪問団を派遣するなど、地域と一体となった取組を継続している。
- ③地域資源を生かした活動：観光協会と連携しながら、校区内にある国指定の天然記念物である風連鍾乳洞の子供たちによるガイド活動を行っている。

### 【実施に当たっての工夫】

- ①和紙づくりでは、川登紙漉き保存会の協力の下、学校、PTA、地域住民からなる実行委員会を毎年開催し、情報の共有を図り、公民館の職員や協育コーディネーターが調整役を担い、組織的に実施している。
- ②「二孝女物語」の精神を継承するために、校内にある「二孝女」の石碑周辺の花壇を川登小学校愛護クラブが保護者と協力して整備するなど、学校環境の美化と合わせて地域の歴史の伝承にもつながる協働活動を行っている。
- ③郷土学習として実施している名所ガイドの活動では、案内文の作成や予行練習、ガイドの実践などを、鍾乳洞を運営する(有)風連鍾乳洞観光協会と連携して取り組んでいる。

## ● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

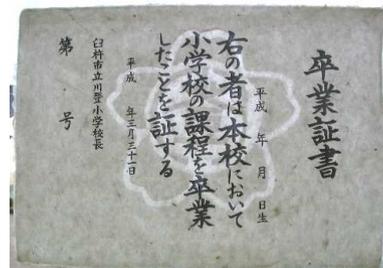
川登地区の多くの地域住民が、自分たちの持っている知識と技術を活かしながら、地域の特色を活かした学校支援活動に関心をもち、小規模となった学校を支え、学校と共に子供の成長を見守り育てる活動となっている。また、小学生は、自分の人生で初の卒業証書を自らの手で作る経験など、地域の特色を生かした郷土学習を通して、地元で自信と誇りを持つとともに愛着心が育っている。中学に進学した卒業生たちも、紙漉きを開催する日には母校に帰り、小学生の後輩を指導するなど、幅広い世代の人のつながりと地域の絆づくりにも貢献している。臼杵市全体で取り組んでいる「うすき土曜ふれあい学校」(土曜授業)においても、昨年度川登小学校の取組に多くの地域住民が参加するなど、みんなの「思い」「願い」「心」が響きあう教育の協働が実現されている。

## ● その他

地域の「ひと」「もの」「こと」を最大限に活用した「社会に開かれた教育課程」により、地域全体で6年間の子供の成長を支え、その集大成として、子供たちは地域の誇りと愛情が詰まった手作りの和紙の卒業証書を受け取り、学校を巣立っていく。



紙漉きの様子



和紙で作った卒業証書



風連鍾乳洞のガイド活動